

【問題提起】第10分科会

『わたしたちが大切にしたい保育』～院内保育所のあり方～

- ◇運営委員 吉田 容子（岩手どんぐり保育園保育士・医労連保育対策委員）
原田 和美（大津赤十字病院院内保育所保育係長・医労連保育対策委員）
森 仁美（全医労本部書記・医労連保育対策委員）
- ◇助言者 西村 実穂（東京未来大学 こども心理学部）

◇分科会趣旨

わたしたちが大切にしたい保育って何かな？院内保育所のあり方ってどんなの？私たち院内保育所（園）で働く職員は、限られた条件の中で、よりよい保育を実現していくために日々頑張っています。通常保育・夜間保育・休日保育・病児保育・食育・アレルギー食など、さまざまな保育に対応しています。医療・福祉の現場では院内保育所（園）は欠かせない存在です。院内保育所のほとんどが認可外保育施設という状況です。認可外であっても、認可であっても、子どもたちはみな平等に保育を受ける権利があります。院内保育所職員も賃金や処遇面で格差がなくなるよう取り組んでいきましょう。

◇募集するレポートのテーマの例として

- * 保育所（園）で抱えている問題
- * 取り組んでいる保育・給食（食育）の実践
- * 知って欲しいこと。共有したいこと
- * 委託化、運営形態についての課題
- * 病院内保育所補助金増額、どんな取り組みをすればいいの？
- * 保育士が続かないのはどうして？ など

どんな内容でもOK。難しく考えないで大丈夫です。

皆さんの声をお待ちしております。

◇参加の呼びかけ

はじめての方でも保護者の方でも、気軽にご参加ください。

院内保育所の現場で起きている問題や悩み、他の園ではどうしているのかな？など

みんなが知りたい内容を語り学び合いませんか？たくさんのご参加をお待ちしています。